

研 究 会

課 題 最近の生糸品質から見た製糸技術のあり方

講 師	農林省農蚕園芸局繭糸課総務主査	折 原 勤 治
	愛知県繭検定所検査係長	井 上 実
	技 術 士	大 野 留 次 郎
	蚕糸試験場岡谷製糸試験所 原料繭研究室長	村 山 稔 助
	京都府織物指導所技術課長	今 井 時 雄
司 会	蚕糸試験場岡谷製糸試験所長	吉 住 章

最近の生糸品質から見た製糸技術のあり方

農蚕園芸局繭糸課総務主査 折 原 勤 治

1. 製糸業をめぐる蚕糸絹業事情

(1) 生糸の需給調整が完全に行なわれることとなった。

決められた生糸需給量は、買い入れ、売渡し等の調整により守られる。その調整材料は輸入量で、国内生産量では不足する量を輸入するが、仮りに需要が減少して余る場合は、その生糸を事業団が一時保有することも出来るし、それに相当する量は次の輸入で減らすことが出来る。

(2) 需給調整を四半期ごとに行なうことにより、生糸価格は決定された価格安定帯の中で、小巾で安定する。

(3) 原料繭が不足する。

生糸価格が安定すれば、自然に製糸の操業率は高くなるので原料繭は常時不足となる。

(4) 生糸の計画生産、原料繭量に見合った操短をしなければならない。

(5) 絹織物在庫が増大しているが、末端消費が延びなやんでいる。機家は製品が売れ出すと増反して来て、返品等も増え、金融事情も悪くなって、苦しい事情にある。今後、ダンピング売りが出ると危険である。この背景には、製品を安値で売らざるを得ないため、生糸を安値で買わざるを得ないから、輸入生糸の原価売りを強く望むこととなる。後述の織物品質の低下による消費減が加われば、今後糸価圧迫の材料ともなりかねない。

2. 生糸品質の現状、問題を検討する場合の要因はなにか。

(1) 輸入繭の増加

(ア) 外国産繭の混雑問題が大きな問題となっている。絹織物の白生地類に染むらが発生している。染むらは絹織物の商品価値を低下させるばかりでなく、高品質高価格な絹製品に対する不信感を起させ、ひいては絹は高くて悪質という汚名のもとに需要減につながる。(他山の石ではない。)

(イ) 輸入繭の実績

乾繭輸入数量、その検定成績の一部は別表のとおりであるが、輸入順に品質は落ちている。

(2) 繰糸方法の退歩

少し言い過ぎになるが、生糸需給がコントロールされると、消費者からみて、その欲する生糸の生産努力が薄れる。又消費者も品質に対してきびしく要求をしない。

(3) 生糸の品質に注意を払わない。例えば二等繭混入生糸を他の生糸に混入して高級絹織物を製織しているが、使用していることを知らない。これらの生糸を無検査で売買している。

3. 外国産繭混雑問題

(1) 染むらの発生

白生地織物で、高級になるほど染むらが発生している。経緯が多い。

(2) 原因

主要な原因は生糸の残留セリシン量の相異、伸度の相異によるとされているが、その基因とす

るところは、原料繭、繰糸方法、製織準備工程、機織工程と順次あるとみられる。

(3) 対 策

染むら発生原因を把握することにあるが、少なくとも次の対策を講じなければならない。

製糸側は、混繰を中止すること。外国産繭を使用した場合は、これが情報、データーを提供すること。（表示をすること）

消費者側は、織物の種類により生糸を選択すること。製織準備工程等に注意すること。この生糸による織物の精練は充分行なうこと。

外 国 産 繭 検 定 成 績

(注) 群馬県繭検定所の50年度(50.4.1~51.3.31)

(1) 乾繭検定(単独請求)の成績

乾繭検定成績の結果である。

項 目 生産地	件 数	荷口繭数量	選 除 歩 合	生 糸 量 合	繭 糸 長	解 じ ょ 率	等 級 点	繭 格
国 内 産	261件	509,600kg	1.4%	42.86%	1,213m	61%	89.2点	2.22等
外 国 産	284	778,400	2.0	39.34	1,046	61	88.0	3.20
合 計	545	1,288,000	1.7	41.03	1,126	61	88.6	2.73

(2) 外国産生産国別検定成績

項 目 国 別	件 数	荷口繭数量	選 除 歩 合	生 糸 量 合	繭 糸 長	解 じ ょ 率	等 級 点	繭 格
中 国	168件	487,200kg	1.3%	39.73%	1,040m	65%	88.3点	2.98等
ト ル コ	58	150,800	3.5	37.82	1,037	52	87.1	3.97
バ ラ グ アイ	41	103,200	2.3	40.42	1,082	63	88.4	2.73
ブ ラ ジ ル	9	15,200	3.8	38.23	1,077	52	87.3	3.78
台 湾	7	20,000	1.4	37.81	1,011	48	86.6	4.00
ギ リ シ ャ	1	2,000	1.1	39.90	1,086	54	87.5	4.00

(3) 中国産繭検定成績(月別平均)

月 別	件 数	荷口繭数量	選除繭歩合	生糸量歩合	繭 糸 長	解 じ ょ 率	繭 格	500g粒数
50.7	25件	76,000kg	0.9%	40.61%	1,048m	68%	2.6等	650粒
8	31	94,000	1.1	40.54	1,035	68	3.00	652
9	22	66,000	1.3	40.46	1,045	65	2.55	633
10	26	70,800	1.6	39.06	1,029	69	3.00	654
11	43	126,800	1.4	38.97	1,045	62	3.00	620
12	8	20,400	1.4	38.81	1,027	56	4.00	658
51.1	13	33,600	1.8	39.24	1,044	58	3.62	642
2	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—
平 均	168	487,200	1.3	39.73	1,040	65	2.98	641
最 多	—	—	2.7	41.43	1,077	73	2.0	671
最 少	—	—	0.7	37.34	1,006	54	4.0	606

(4) 中国産繭検定成績 (月別平均)

(受渡供用不適品とみられる荷口について)
工場から依頼により検定したもの

月 別	件 数	荷口繭数量	選除繭歩合	生糸量歩合	繭 糸 長	解じょ率	繭 格	500g粒数
	件	kg	%	%	m	%	等	粒
50.12	13	27,950	3.7	33.27	771	59	4	875
51.1	12	29,600	3.0	32.55	746	54	4	900
2	9	20,400	2.5	32.97	769	53	4	883
3	9	22,700	2.1	33.46	765	52	4	895
平 均	43	100,650	2.9	33.04	762	55	4	888

乾 繭 の 原 産 国 別 輸 入 数 量

(単位 乾繭kg)

原 産 国 名	50 生 糸 年 度 輸 入 数 量 (実 績)							
	50年6月～ 12月	51年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	1月～5月 計	合 計
中 国	1,686,750	402,525	394,775	367,850	410,000	416,275	1,991,425	3,678,175
ギ リ シ ャ	8,770		4,905	6,500	36,000	8,234	55,739	64,409
コスタリカ	199							199
スリランカ	1,402							1,402
象 牙 海 岸	865			468	510		978	1,843
台 湾	103,440	12,000	11,000	3,000	360	9,303	35,763	139,103
ト ル コ	522,066			121,315	249,847		371,162	893,228
バラグアイ	70,653		5,300	18,923	21,772	92	45,995	116,648
ブ ラ ジ ル	44,635	8,100	17,352	29,000			54,452	99,087
イ タ リ ア		41,250	10,122	10,337			61,709	61,709
イ ラ ン					8,180	40,673	48,853	48,853
パキスタン						1,200	1,200	1,200
北 朝 鮮		10,000					10,000	10,000
ブルガリア				5,250			5,250	5,250
コロンビア			60				60	60
計	2,438,780	473,875	443,514	562,643	726,669	475,777	2,682,478	5,121,258